

# 【先-9】北広島市総合運動公園等整備運営事業に係る官民連携手法導入検討調査 (対象箇所:北海道北広島市)

【実施主体】北広島市

平成27年度

## 調査目的・これまでの経緯

北広島市では、当市のスポーツ・レクリエーション面での重点施設である右図施設について、民間ノウハウを活用した施設整備及び一体的な運営管理を行うことにより、集客力の強化・効率的な運営及び地方創生の観点からの実現方策等を検討する。

### ■総合運動公園

- 昭和45年 総合計画に位置付けられる
- 平成5年 都市計画決定
- 平成8年 基本設計
- 平成17年 計画の縮小
- 平成20年 整備事業凍結

### ■レクリエーションの森

- 昭和56年 供用開始
- 平成26年 運動広場事業と一体で整備検討着手

## 施設の概要

	管理主体	規模	主な施設
きたひろしま総合運動公園	都市計画決定済、未整備	36.7 ha	
北広島レクリエーションの森	林野庁所有、市が借受	40.8 ha	・冒険の森 ・水辺広場 ・散策路

※エルフィンロード(道が管理)及びエルフィンロード周辺の市管理施設(水辺の広場、学習の森、自転車の駅)との連携も併せて検討。



(出所:地図データ©Google ZENRIN)

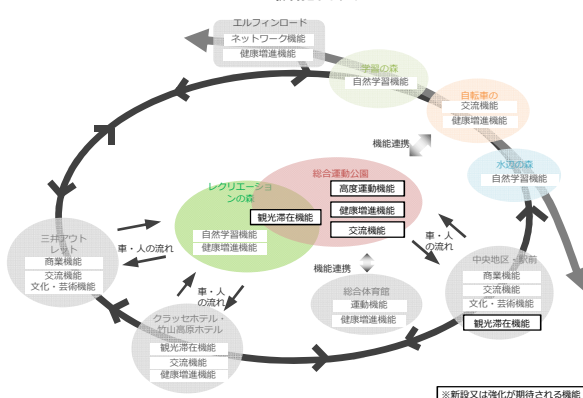
## 調査結果

### 1 民間ノウハウ等を踏まえたエリア開発方針の検討及び整備・運営基本計画の検討

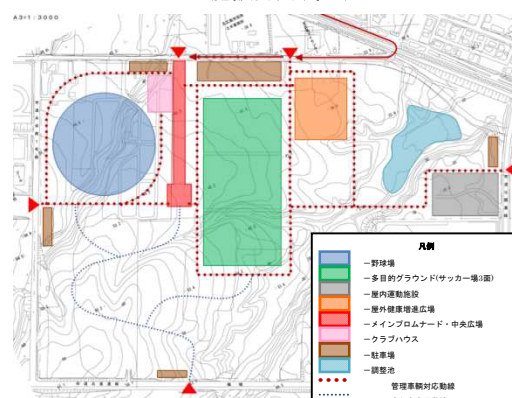
以下のとおり、機能計画の検討段階から、ヒアリング等により、民間事業者の意向を踏まえた結果、周辺類似施設との差別化や、施設の需要動向を踏まえた、機能計画及び施設計画とすることができた。具体的には以下のとおり。

- 計画地は駅から徒歩圏内であるものの、利用者の大半は車で来場することが見込まれる。
- アマチュア利用を前提とした合宿事業が成立する。
- 野球場やサッカー場など、高規格のスポーツ施設の需要がある。屋内運動施設も冬季を中心に需要がある。
- レクリエーションの森及びエルフィンロードについては、官民連携事業導入の余地は少ない。
- ネーミングライツ付与や寄付など、地元貢献の観点から積極的な官民連携手法導入の可能性はある。

機能計画



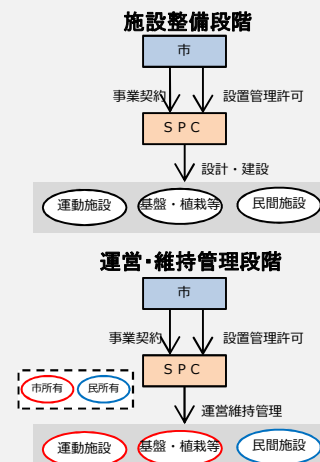
施設計画(案1)



### 2 事業手法、事業範囲の検討、評価

施設計画を踏まえ、スキームを検討したところ、官民連携事業による一定の効果が見込める。今後は、民間資金の活用余地等を勘案のうえ、詳細なスキームを決定する。

#### 想定されるスキーム(案)



## 今後の展望

### 今後の予定

- 平成28年度
  - 基本計画案検討
- 平成29年度
  - 基本計画策定
- 平成30年度
  - 実施方針の公表
  - 募集要項の公表
  - 事業者の選定

### 事業化にあたっての課題

- 施設計画の絞り込み
- 冬季における運動公園の利活用方法
- 計画地に隣接する総合体育館との連携、一体的運営手法